

知ってほしい現実

下のグラフをご覧ください。  
 家族の一員として大切に育てられている動物がいる一方、人間の身勝手な行動などによって行き場を失くした犬猫は保健所に收容されます。元の飼い主が見つければ返還となり、元の飼い主が見つからないなどの場合は、新しい飼い主へ譲渡となりますが、返還や譲渡に至らない犬猫は殺処分されてしまいます。

なぜ、これだけ多くの犬猫が保健所に收容されるのでしょうか。それには、犬猫の特徴や繁殖力をしっかり把握できず、適切な対応ができなまま飼育することが大きな要因です。この現状を変えるため、そして殺処分をゼロにするため、市民の皆さんに知ってもらいたいこと、そして、できることがあります。

本特集では、殺処分ゼロにつながる飼育マナーや献身的に活動を行っている動物愛護団体の方々の取り組みを紹介します。

不妊去勢手術の重要性

犬猫は、ともに繁殖力の高い動物です。特に、猫の場合、哺乳類の中でも珍しい「交尾排卵」という妊娠形態のため、交尾すればほぼ確実に妊娠し、1回の出産で4〜8匹の子猫を産みます。

また、その約2カ月後に子猫が離乳すると次の妊娠が可能になります。その子猫も生後6カ月前後で繁殖可能な年齢に達するので、繁殖サイクルが非常に速いことが特徴であり、環境省では、計算上、1匹のメス猫が3年後には、2千匹以上に増えると試算しています。

多頭飼育崩壊（飼育能力の限界を超えて繁殖した状態）によって捨てられた猫が、捨てられた先で繁殖を繰り返して、それによってふん尿被害や騒音など、さまざまなトラブルを巻き起こす可能性もあります。

犬猫の不妊去勢手術は、望まない繁殖を防ぐだけでなく、病気の予防や発情期特有の問題行動抑制にも効果的です。

不幸な命を増やさないために、また、動物の健康管理のためにも不妊去勢手術は重要です。

飼い主の皆さんへ

猫 飼い主の責務

- 不妊去勢手術
- 室内での飼育
- 迷子札の装着
- 終生飼養



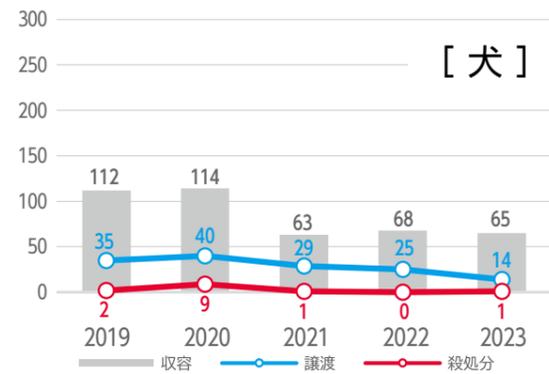
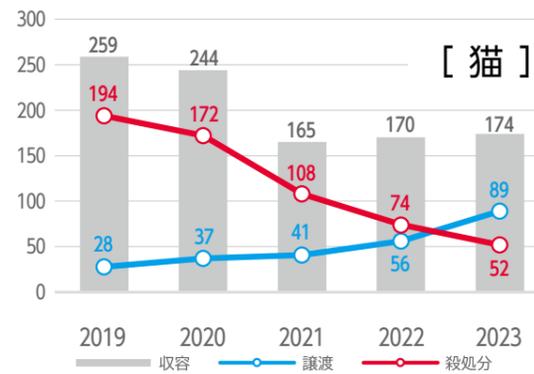
猫の適正飼育管理ガイドライン

犬 飼い主の責務

- 狂犬病予防の注射
- 不妊去勢手術
- 迷子札の装着
- 終生飼養
- ふんの適正処理
- しつけ
- 放し飼いの禁止



市保健所における犬猫の收容・譲渡・殺処分の推移





# 保健所からのお知らせ

## 不妊去勢手術費の一部を助成

犬猫のみだりな繁殖防止のため、飼い犬・飼い猫の不妊去勢手術に要した費用について、その一部を助成しています。



メスの助成額

4,000円



オスの助成額

3,000円



受付期間 来年3月17日(月)または、本年度内で予算額に達した日

※助成対象要件や申請方法または所有者のいない猫の助成など、詳しくは市ホームページを確認ください。



飼い犬  
飼い猫



所有者の  
いない猫

## 狂犬病の予防

狂犬病予防法で毎年一回予防注射を受けることが義務付けられています。注射は動物病院で年間を通して受けることができます。市内の指定動物病院以外で注射をした場合、証明書を発行してもらい、保健所または各支所(好間支所を除く)窓口を持参し、注射済票の交付を受けてください。

注射済票交付手数料：550円(注射料別)



## 相談対応・引き取りなど

動物で迷惑している、困っている方からの相談対応、飼い主への動物の飼い方のアドバイスや指導などを行っています。また、犬猫の引き取り(事前要相談)、負傷動物の収容なども対応しています。収容後一定期間経過後に譲渡適性があると判断した場合は、新しい飼い主を募集し、きちんと飼える方にお譲りしています。また、FacebookやInstagramでも情報発信をしています。

犬猫の譲渡情報や  
適性飼育について紹介



Facebook



Instagram

いわき犬猫情報局

## 動物愛護ふれあいフェスティバル

人と動物が共に生きるために、一人一人ができることについて考え、呼びかけ、広める取り組みとして、例年、動物愛護ふれあいフェスティバルを開催しています。ぜひ、ご来場ください。



開催予定日 9月29日(日) 総合保健福祉センター

【お問い合わせ】 保健所生活衛生課 ☎27-8592

# 動物愛護団体の思い



いわき「犬猫を捨てない」会

アニマル・サポートの輪いわき

NPO法人LYSTA



遠藤 良志子 さん

## 飼い続ける覚悟

犬猫を取り巻く現状についての広報活動をはじめ、里親探し、動物愛護に関する講演会やセミナーの開催など幅広く活動しています。

「飼いたい」と「飼える」は別ものです。動物の習性を十分に理解し、最後まで世話をする覚悟が求められます。



宮内 育子 さん

## 人が果たす責任

不妊去勢をサポートする会として発足し、手術のサポートなどを行っています。

飼っている人が責任を果たして、捨てる行為をなくせば、私どもの会は必要なくなります。いつかそんな時が来ることを願いながらこれからも活動していきます。



鈴木 理絵 さん

## 不幸な命増やさない

「LYSTAシェルター」と「里親募集型保護猫ふれあいサロンOhana」で、常時150匹以上の犬猫を保護しています。また、猫の不妊去勢手術を推進するため、いわきTNR病院を運営しており、殺処分ゼロを目指しています。

※TNR病院 猫の捕獲と不妊去勢手術を一体的に行う病院

## 人と動物に優しいまち、いわきを目指して

いわき市長 内田 広之

近年、本市では、犬や猫の殺処分が大幅に減少しています。犬は限りなくゼロに近づいてきていますが、猫はやむを得ず殺処分するケースがあります。また、安易に飼い始め飼育できなくなり手放すなどの例が見受けられます。

市民全体に、動物を大切にできる心や責任を持って飼育する機運をつくり、人と動物に優しいまちいわきを目指して殺処分も将来的にゼロにしていきたい。その拠点づくりの意味も込め「動物愛護管理センター(仮称)」の整備を検討しています!

